

## 事業計画書

事業名	大学生ネットワークづくりと若い世代が活動できる場を広げる事業
実施場所	沼津市内（中央公園等、公共空間を考え中）、東京都周辺
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和2年 4月 1日 ～ 令和2年 3月 31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

地元のまちづくりを行いたいが東京の大学に行ってしまう、中々できない人同士のネットワークを形成します。その後、そのネットワークの人たちと地元にいる人も巻き込んだ形で、イベントやワークショップを沼津市内で開催していきます。イベントやワークショップの内容としては公共空間を活用した、大学生が主催でイベントを開催するなどを考えています。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

この事業は、心の地元離れを解決するために、より身近に地元出身で同じ境遇にいる人同士が気軽に集まり、自分から活動することを促進する事業である。

現在、物理的な移動が簡単にできるようになっている。そのため、沼津市に簡単に帰ってこれる一方で、東京に行く若者も増加し、そのまま沼津市を離れてしまうケースが多い。理由は様々考えられるが、沼津市で何か活動をしたくても、その方法が分からず気持ちも離れてしまう人もいる。

東京に進学することで、沼津市との関わりが薄れ、活動したいと考えていても何もできない人が、活動できる場として、ネットワークづくりおよび、沼津市内での大学生主催のイベントやワークショップは必要だと考えている。

## ◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
令和2年	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。
4月	市外での活動 ① ネットワークの作成 ネットワーク作成のために基盤となるアプリケーションやホームページもしくは、SNSのグループを作る。 広報を行い、新たなメンバーの募集
6月 ～9月	② 東京都付近にてワークショップを開催 コミュニティの場を形成。 →沼津市内で行いことを話し合う

令和3年	10月 ～12月	市内での活動 ③ 沼津市内でワークショップを開催 沼津市内の大学生も含めてワークショップを行う。 イベントの準備
	1月 ～3月	④ 沼津市内でイベントもしくは企画を実行する 内容 沼津市内の公共空間（中央公園など）を利用し、本ネットワークのワークショップの実施内容や東京都周辺の学生から見た沼津の魅力などを発信する場を設け、ワークショップで提案する内容も実施する。
※ 補助金は③④にて、使用。		

### ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生が沼津市と関わりを持つことによる、卒業後のUターンの増加。</li> <li>・沼津市で何かをしたい人への、サポート及び実現可能性が若い世代にも広がる。</li> <li>・東京にいるから分かる視点（外からの視点）が新たな可能性を生む。</li> </ul>			
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 関係者の満足度 後継者への認知度	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 ワークショップ及びイベントでの アンケート調査

### ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 沼津市内と市外でつながりを作成することで、沼津市内から市外へと出てしまった人に対して、活動できる可能性を与えることが出来る。また、沼津市内の市民に対して、人材を外から持ってくる事が出来ることで、人手不足が解消できる。
地域性	※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 沼津市内は人口が減少しており、「沼津市をより良くしたと思っている人」も外へと流出している。沼津市内だけにとどまらず、沼津市の外へと出てしまった「沼津をより良くしたいと思う人」を集めることが出来、沼津をより良くしたいと思う人は沼津市の資源である。
先導性	※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 沼津市内には大学がなく、大学生の視点を含めたまちづくりという点が、新規性であると考えられる。また、市内の人や周辺の市から来て、活動を行うことが多くても、東京都付近からやってきて、沼津市内で活動を行うことは新たなチャレンジである。
発展性	※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。

継続性	沼津市出身の大学生を集めるため、そこから高校の時の友達などへ規模を広げることが出来る。そうすることで様々な地区から人を集めることが出来、様々な地区のまちづくりへ着つなげることが出来る。また、ネットワークを作成することで得た新たな後輩や、大学内の沼津市出身の後輩に継続的に引き継がせることが可能。
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>沼津市内まで戻らないと全く活動が出来ないのでなく、自己資金を利用して、東京都でも活動を行う場を提供することで、まずはワークショップに来てもらいやすくしました。</p>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>東京に進学する前までは、沼津市内のイベントのサポートなど、様々なことに参加していましたが、東京に進学してからは、日程的にも金銭的にも、沼津市まで戻って活動することが難しかったです。そのため、今回の事業提案を考えました。また、活動したくても何をすればいいのかわからない他の学生をサポートできるシステムというものが、もっと身近にあるべきだとも感じていました。ぜひ、私が大学生のうちにできることを、実際に行動へと移していきたいです。</p>

### ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

今回は、基盤となるシステムを作成していき、次年度からは、規模の拡大を狙いとした、新1年生の勧誘を行います。

### ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。